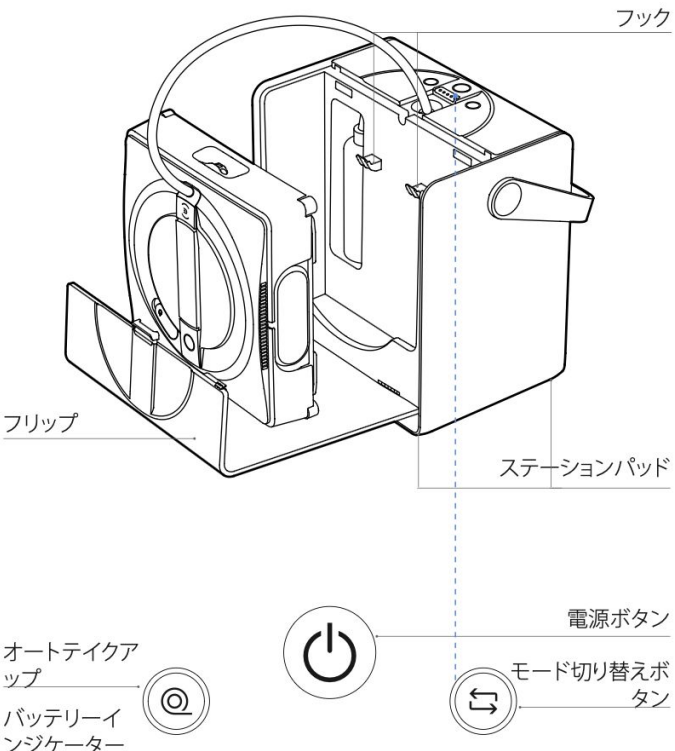
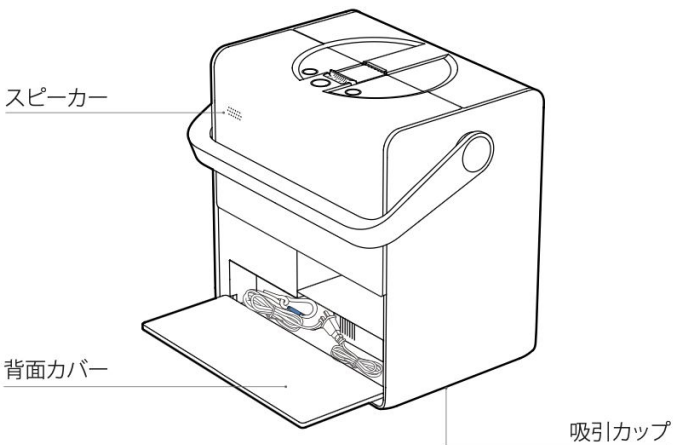
Hellohas Robotics

WINBOT W2 PRO OMNI BE
クイックスタートガイド

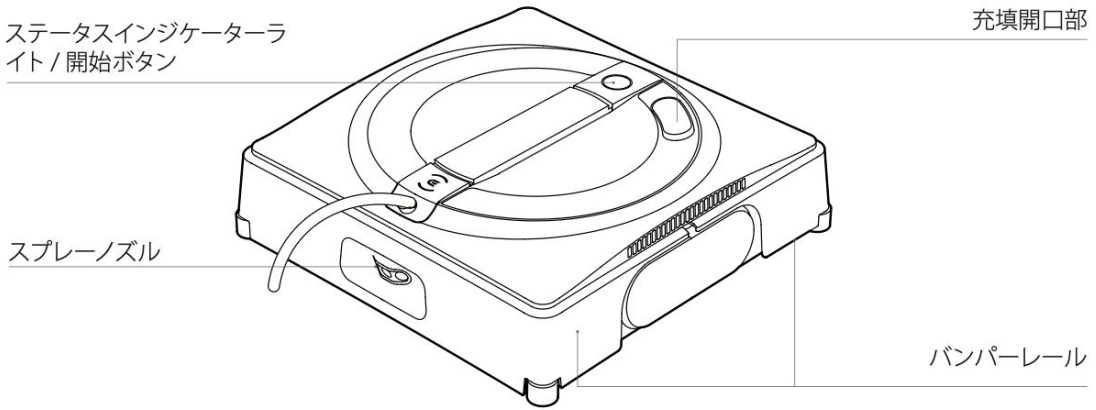
• 製品名称

1. ステーション

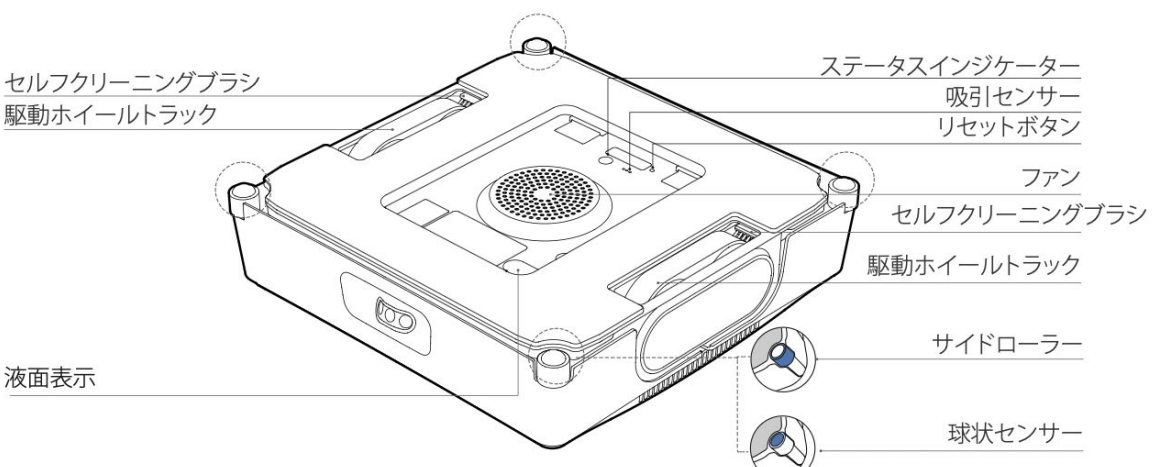




2. ロボット本体



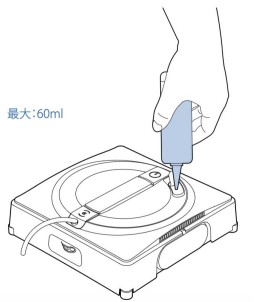
3. 底面図



WINBOT W2 PRO OMNI BE クイックスタートガイド

1. はじめる前の準備（5分）

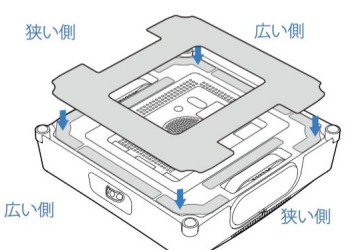
清掃を安全・確実に行うために、以下の手順を必ず守ってください。

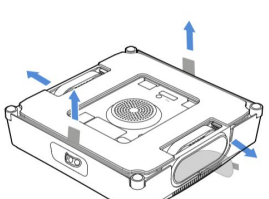


1. **水タンクの確認**
   - 残量不足の場合、注ぎ口からWINBOT専用洗剤を入れます（最大**60ml**）。
     （※注意:精製水やろ過水の使用はお控えください 。）

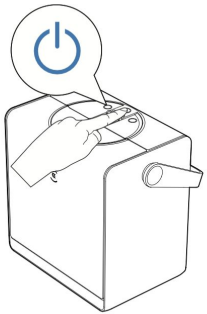
2. **パッドの準備**
   - ワイプパッドを水道水で濡らし、**固く絞ってから**、本体裏面にシワがないよう貼り付けしてください 。

     （※注意:本体周囲の保護クッションや側面の保護フィルムなど、
     保護材がすべて取り除いたことをご確認ください。）





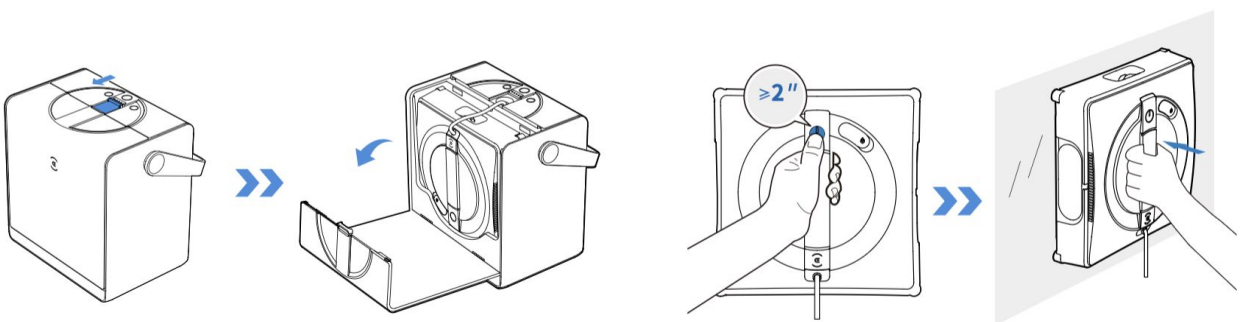
2. お掃除のスタート



1. **ステーションを床に置く**：窓のすぐ下の平らな地面（継ぎ目のない床面）に置きます 。
   ※注意：カーペットや隙間のある床など、凹凸のある面にステーションを置くと、
   清掃時にステーションが外力によって、移動されてしまうリスクがあります。

2. **電源ON**：ステーションの電源ボタンを2秒間長押しして起動します 。

3. **本体を取り出し、起動**：本体の開始ボタンを**2秒間長押し**して、吸引を開始させます 。

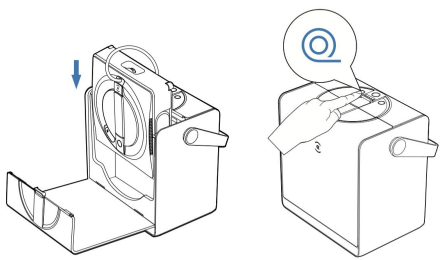


1. **窓へ貼り付け**：本体をガラスに近づけると吸着します。（窓の縁から**10cm以上離れた位置**にしてください）
   ※注意：本体とステーションをつなぐケーブルは最大5.5m、最大4m（幅）x 2.5m（高さ）の窓を清掃できます。
   （アプリで「ゾーンクリーニング」を起動した場合、幅は最大8mまで対応可能です）
2. **モード選択**：ステーションのボタン（ ）でモードを切り替えられます 。
   - 通常は「高速清掃モード」、汚れがひどい時は「徹底清掃モード」を選んでください 。

一時停止：清掃中に一時停止したい場合、ステーションの電源ボタンを1回押すと、一時停止します。再開したい場合、再度ステーションの電源ボタンを押してください。

3. 終わったら（お片付け）

1. **本体の回収**：掃除が終わると開始位置に戻ります。本体のハンドルをしっかり持ち、開始ボタンを長押ししてファンを止めてから外します 。



2. **ケーブル収納**：本体をステーションに入れ、巻き取りボタン（◎）を押して自動で巻き戻されます 。
3. **お手入れ**：使用後のパッドは外し、洗ってから乾燥させてください 。
4. **充電**：次回のシフトの方がすぐ使えるよう、電源に繋いで充電してください 。（ゼロからフル充電まで約3時間）

4. トラブル・安全チェック

- **「空気圧が不足」という音声**：ワイプパッドがズレていないか、ガラスにヒビがないかをご確認ください 。
- **動かなくなった場合**：駆動ホイールトラック部分にゴミが詰まっていないか確認し、布で拭いてください 。
- **手が届かない場所に止まってしまった場合**：アプリを使用し、より手が届きやすい場所までWINBOT を移動してください。
- **使用禁止**：雨の日、強風の日、外気温が規定外*のときは外側の掃除をお控えください 。ひび割れや、彎曲している窓には利用しないでください。

*洗浄液や水を使用する場合は【0℃～40℃】、使用しない（空拭き）場合は【-5℃～40℃】

高度な機能

利用可能なすべての機能を利用するため、ECOVACS HOME アプリを使用して WINBOT を制御することをお勧めします。

a. さまざまな清掃モード

完全清掃：エッジ清掃による高密度清掃動線で、全面的かつ完全な清掃を実現します。
徹底清掃：重度の汚れを取り除くための密な清掃動線。
高速清掃：軽い汚れを取り除くための速い清掃。
エッジ清掃：角や縁の残留物を清掃するためのエッジ専用清掃。

トラブルシューティング

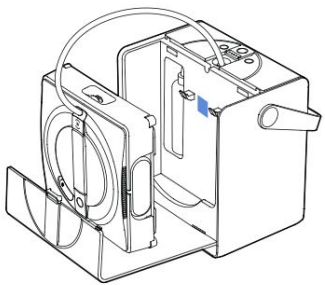
WINBOT がアラームを発したときに慌てないようにしてください。アプリにアクセスして包括的なトラブルシューティングガイドを参照してください。

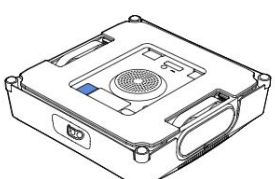
c. 全方向ナビゲーション

アプリでは、丸い D パッドを使用して WINBOT を制御できます。この機能は、360 °ナビゲーション、スポット清掃、手動の水噴霧など、WINBOT の動きを正面と底面の両方からサポートします。

① ステーションまたは WINBOT の底面にある QR コードをスキャンし、ECOVACS HOME アプリをダウンロードしてインストールします。

② ECOVACS HOME アプリを開き、ステーションにある QR コードをスキャンし、ウィザードに従って WINBOT を接続します。



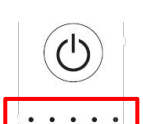


または

iOS　Android

ECOVACS HOME

・ 本体のステータスライト

インジケーター	ライト状態	意味
WINBOT本体側 インジケーターライト	青色で点灯	WINBOT がスタンバイ状態であるか、清掃中です
	赤色で点滅	WINBOT がスプレーを行っています
	青色でゆっくり点滅	WINBOT のファームウェアがアップグレード中です
	赤色で点滅	WINBOT が正常に機能していません。 サポートセンターまでお問い合わせください
ステーション側 ステータスインジケーターライト 	青色で点灯	正常稼働中の状態です
	青色でゆっくり点滅	WINBOT やステーションのファームウェアがアップグレード中です
	赤色で点滅	WINBOTやステーションに異常があります サポートセンターまでお問い合わせください
ステーション側 バッテリーインジケーターライト 	青色で点灯	十分なバッテリー残量があります
	青色でゆっくり点滅	充電中です
	赤色で点滅	バッテリーの残量が不足です WINBOT は作業を続行できないため、直ちに充電してください 改善しない場合、サポートセンターまでお問い合わせください

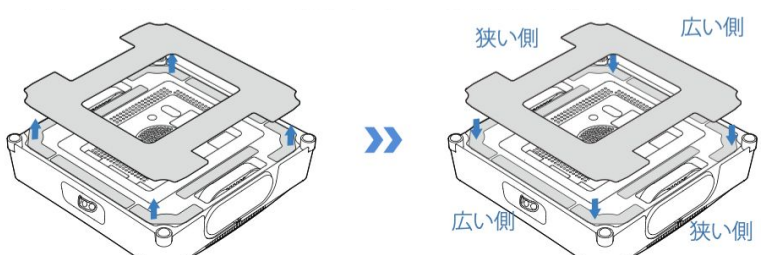
WINBOT W2 PRO OMNI BE のメンテナンスについて

・ メンテナンスの頻度

	清掃頻度	交換頻度	備考
ワイプパッド	清掃前後1回ずつ	1か月に1回	清掃途中で汚れがひどいと思う場合、清掃を一旦中止し、都度交換や洗浄をしてください
ファンのゴミ除去	清掃前後1回ずつ	-	
駆動ホイールトラック	清掃前	-	
ファン、球状センサー、サイドローラー	1週間1回	-	
安全ロープの劣化(摩耗・ほつれ)確認	1カ月1回	-	
ファン内部の目視点検	1カ月1回	-	

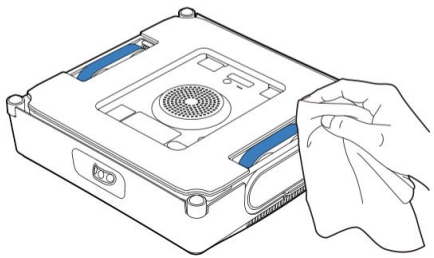
1. ワイプパッドの交換

汚れたワイプパッドを取り外し、WINBOT に新しいワイプパッドを取り付けしてください。ワイプパッドが正しく取り付けられていることを確認してください。
※注意:ワイプパッドが球面センサーを覆っていないことを確認してください。



2. 駆動ホイールトラック

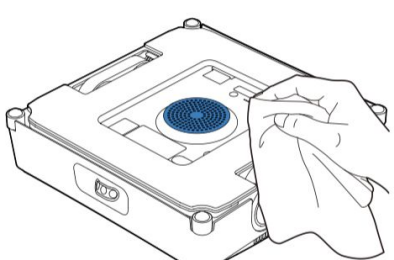
清掃の前に、WINBOTが動作していないことを確認してください。
汚れが見つかった場合は、トラックを清潔な布で清掃してください。
（ECOVACS HOMEアプリでWINBOT を制御し、駆動ホイールトラックを動かすことも可能です）



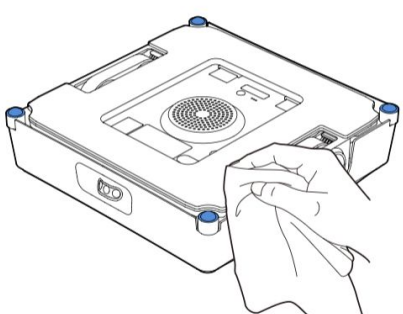
3. ファン、球状センサー、サイドローラー

下記

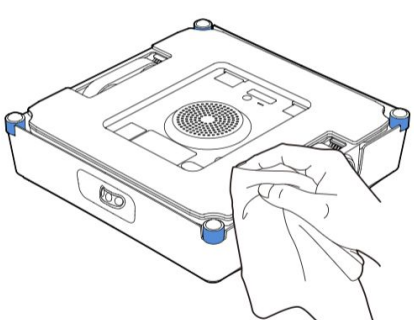
ファン



球状センサー



サイドローラー



Hellohas Robotics 株式会社
東京都千代田区内神田1丁目4−10
ATS大手町ビル 1F